

# 釧路南ロータリークラブ会報

第28回 例会報告 2013.2.8 通算1476回

・点 鐘 森江会長

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 佐野 実会員

・入会記念祝

佐藤 玄史会員 H9.2.14 (16年目)



・会長挨拶



皆さん、こんにちは。せっかく綺麗になった道路も昨日からの雪で、また冬景色に戻ってしまいました。私の商売柄、事故が多発していると聞いております。皆様に於かれましても車の運転には充分注意していただきたいと思っておるところでございます。先日、釧路ロータリークラブの邵幹事からメールを頂きました。昨年度、我がクラブと韓国セーチェンジュRCとの「友好クラブ」としての世界社会奉仕事業、カンボジア幼稚園、学校建設が行われましたが、間もなく建設完成に至りそうだということです。カンボジアの窓口になっておりますシン宣教師から、幼稚園・学校に「図書室」を設けようとしたが資金不足の為、悩んでいるとの事でした。釧路クラブさんと力を合わせ図書費を送りたいと考えておりますが、例会終了後の臨時理事会で決めたいと思いますので、どうかご理解の程よろしく願いいたします。

・幹事報告



- \* ロータリー手帳の申し込みの案内がまいております。来週2月15日の例会までに必要な方は、幹事まで申し出ください。
- \* 釧路北ローターアクト様より創立40周年記念誌を拝受しております。
- \* 本日、例会終了後、臨時理事会を開催します理事の方は出席ください。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金  
佐藤 玄史会員 入会記念祝として

### 出席委員会

会員 24 名 16 名出席 出席率 66%

## ・本日のプログラム

### 「世界理解月間に因んで」

担当 国際奉仕委員会

#### ◆長倉国際奉仕委員長



国際奉仕は、下記の通りその歴史とロータリアンの責務があります。

以下 2660 地区資料参照。

### 9.1 国際奉仕とその歴史的経緯

ロータリーの第 4 奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の 1917 年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922 年に綱領の第 6 項目として正式に明文化され現在に至っています（ロータリー章典 8.050.1.）。

### 9.2 個々のロータリアンの責務

世界で紛争や戦争など有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならない、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。つまり世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も、有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいるのです。しかし、ロータリアンは手続要覧 89 頁に記されている個々の責務を忘れてはなりません。

1. 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。
2. 国家的または人種的優越感によって行動しないようにすべきである。
3. 他国民と強調する共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
4. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
5. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
6. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものでなければならないと認識すべきである。
7. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
8. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的基準水準が存在すると認識しながら、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。
9. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には、適切な注意を払うべきである。

となっております。当クラブの国際奉仕に関してはそれぞれの年度で事業を行っております。

ご存知の方も多いとは思いますが、概要を簡単に振り返ってみますと、

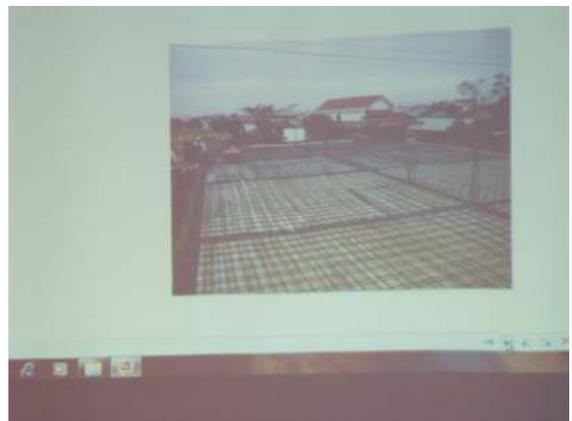
2002～2003 年高橋会長の年度の時(小船井ガバナー年度)韓国 3590 地区との間で青少年交換留学を行い、その際に新晋州RCと友好クラブとなり今に至っております。その際に友好クラブとしてのお互いの関係は、お互いに負担にならないようにという事が条件となっております。

2005～2006 年安東年度で、友好クラブの延長の調印に安藤会長、北上幹事と渡航しております。

2008～2009 年は、北上会長年度でタイよりGSEを受け入れ、団長のツウイが北上さんの家にホームステイしております。北上さんは、英語は全くダメですが、ツウイとは普通にコミュニケーションをとっていたのにはビックリしました。

2010～2011 年木内年度で、5年ぶりに継続の調印に木内会長、菅井幹事、佐藤了さん、高橋さん、長倉(会長エレクト)それから釧路クラブのSOUさんと伺ってきました。それまでの5年間は、何か良い関係をなっていなかったと思いますが、修復できたと感じております。向こうでの例会は、新旧交代の例会でご婦人も参加し盛大に行われており、その中で木内会長がお祝いのスピーチをクラブを代表してされました。言葉は通じませんが、大変歓迎されました。新晋州RCのカンボジアの学校建設に資金の一部を提供することとなったのも関係修復の一因となったと思います。

そういう関係の中で昨年の30周年の式典でお祝いに駆けつけてくれたという流れとなっております。4月には、当クラブから新晋州RCへ訪問予定です。



#### ・次回のプログラム

2月15日(金)

「クラブフォーラム」

会場 釧路東急イン

担当：奉仕プロジェクト委員会

・点

鐘

森江会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員